

序 言

学 長 栗 本 義 彦

大学の課題は、ヤスパースの著「大学の理念」をひもとくまでもなく、研究者と学生との共同体のなかで真理を探究することであると云えよう。そして、そのためには科学的な学問の研究ということが必須の条件となると考える。大学教育における人間形成といったことも、このことを抜きにしては不可能であろう。

本学においても、以前から、理論と実践の総合的立場からの体育学の研究の必要性を痛感していたが、今回ようやくその成果の一部を発表することができた。顧みれば、本学も創立80年になんなんとしているが、紀要発刊を機会にさらに研究施設の充実をはかり、全教官の学問的情熱の燃えあがることを念じている。

集録した論文は、教授諸氏の日頃の研究の成果であるが、いささかでも学界に裨益するところがあれば幸いである。江湖諸賢の忌憚のない御批判、御叱正をおねがいする次第である。